

■金沢駅(兼六園口／東口)から金沢大学 角間キャンパスまでのアクセス

〔北陸鉄道バス利用の場合〕北陸鉄道株式会社 路線バス

角間キャンパス(バス停:金沢大学自然研前)まで

〔93〕〔94〕〔97〕金沢大学行き(兼六園下経由) JR金沢駅から約35分



■各方面から金沢までのアクセス

※実際のダイヤ等は各交通機関のWebサイトで確認してください。

東京／長野方面から	飛行機	〔羽田〕－〔小松〕	1日10便	1時間	※小松空港－金沢駅 高速バス40分
	JR	〔東京〕－〔金沢〕		《北陸新幹線かがやき》	2時間25分 ※富山－金沢18分
	JR	〔長野〕－〔金沢〕		《北陸新幹線かがやき》	1時間 6分
大阪／京都方面から	JR	〔京都〕－〔敦賀〕－〔金沢〕		《特急サンダーバード・新幹線つぎ》	2時間 ※福井－金沢25分
	JR	〔大阪〕－〔敦賀〕－〔金沢〕		《特急サンダーバード・新幹線つぎ》	2時間30分
名古屋方面から	JR	〔名古屋〕－〔米原〕－〔敦賀〕－〔金沢〕		《新幹線ひかり・特急しらさぎ・新幹線つぎ》	2時間25分
	高速バス	〔名古屋〕－〔金沢〕	1日11便	4時間	
その他の方面から	飛行機	〔札幌・福岡・那覇〕－〔小松〕			
	高速バス	〔新潟・高山・富山・他〕－〔金沢〕			



融合系事務部学生課

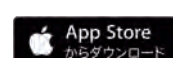
〒920-1192 石川県金沢市角間町

E-mail: yugonyusi@adm.kanazawa-u.ac.jp

Tel: 076-264-5910 Fax: 076-264-5899

融合学域
Webサイト

金沢大学入試情報アプリ

今すぐ
ダウンロード！R7 Ver.1
2025.09
 金沢大学
融合学域
R7 Ver.1

 先導学類
観光デザイン学類
スマート創成科学類

新しい知識との出会いが、挑戦できるチャンスが、ここにある。多角的に見渡せる視野を身に付け、広く深い知識を翼に変えて、目の前に広がる空へ飛び立とう。空にはボーダーラインなんかない。限界も可能性も、自分で変えられる。未来を想像するんじゃなく、ここから創造しよう。

自分を変える、
未来も変える

 先導学類 R3 設置
観光デザイン学類 R4 設置
スマート創成科学類 R5 設置



金沢大学長
和田 隆志

新たな世界を切り開く「未来知」の創造へ

現代は、AI、ロボット技術の進展、デジタルトランスフォーメーション(DX)による産業構造の変化が加速しています。日本でも仮想空間と現実世界とを融合した「超スマート社会Society 5.0」の実現による経済発展と社会課題解決の未来図が描かれています。一方、平和問題、エネルギー不安など国際的な懸念事項も顕在化しています。

金沢大学では、大学憲章において「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」を基本理念に掲げています。「自ら学び、自ら育む」という自発的な学びが深められる教育環境のもと、希望ある社会に向けて、文理医融合の「総合知」により現代の課題解決を先導することを目指します。さらに、未来の課題を探索し克服する知恵、未来の価値を生み未来の社会を創造するための知恵である「未来知」により、国際社会の中核的リーダーとなる「金沢大学ブランド」人材の育成に取り組んでいます。

こうした全学的な理念のもと、Society 5.0に対応した文理医融合教育の拠点として、令和3(2021)年4月

に、新たな学域である「融合学域」を創設しました。

従来の常識や殻を破り、社会を変革し、新たな未来を切り拓く「先導学類」、我が国の観光産業を牽引し、新たな価値デザイン社会を創造する「観光デザイン学類」、そして持続可能なスマートシティを見据えた未来の科学を創成する「スマート創成科学類」の3学類を擁し、イノベーションをリードする人材を養成・輩出してまいります。

多様な分野やシステムを融合・統合するためには、リベラルアーツ教育やSTEAM教育の強化が必要不可欠です。また、学友と切磋琢磨するとともに、留学やインターンシップ等の「他流試合」を経験することも重要です。本学域で学ぶ学生には、「自分と未来は変えられる」という信念を持ち、深い教養を身につけ、自分にはない世界観や知見を持つ人と、大いに交流してほしいと思います。

新たな世界を切り開く「未来知」を創造するのはここで学ぶ皆さんです。金沢大学では、全学を挙げて皆さんの意欲的な学びをサポートいたします。

文理医融合教育からイノベーションへ

融合学域は、金沢大学の第4の学域として令和3年4月に創設され、先導学類、観光デザイン学類、スマート創成科学類の3学類で教育研究を行っています。

学域の理念は、「文理医融合によりイノベーションを起こす人材の養成」です。文理医の知見を融合させ、数理・データサイエンスを駆使して、社会の課題発見と解決モデルを提示することで地域と世界に貢献することを理念とし、知識基盤社会で中核的リーダーシップを発揮できるイノベーション人材の養成を目指しています。

そのため、融合学域では1つの学問領域だけを学ぶのではなく、文理医の広い分野の基礎を学び、PBL(Project Based Learning)により課題発見・解決の手法を学びます。教員の専門分野は、文理医の広い範囲にわたっています。学生も、文系の学生と理系の学生が混在しています。このような多様な環境で日常的に学び議

論することで、異分野融合によるイノベーションマインドを醸成します。

現代社会は動きがとても速く、激しくなっています。例えば、ChatGPTなどの生成AIや無人小型飛行機ドローンの発展は目覚ましく、毎日のようにニュースで話題になっているのはご承知かと思います。上手に使えば生活にも良い影響を与えるものと期待されていますが、さらに社会を活性化するためには、様々な視点に基づいたイノベーションが必要です。

キーワードは、文理医融合(異分野融合)、イノベーション、アントレプレナー、デザイン思考です。

文理医融合により新しい自分を発見し、一緒にイノベーションを起こしませんか?皆さまをお待ちしております。



先導学類長
中山 晶一朗

何のために何を学ぶか

融合学域先導学類は、学域の中でトップを切って令和3年4月に創設されました。融合学域という学域名からは文系・理系の科目の幅広い学びを連想する方もいるかもしれませんが。本学類でも人文科学・社会科学・自然科学等の多様な分野の知見や科学技術を広く学んでいきます。ただし、そこで求められているのは幅広い知識の修得というものではありません。重要なのは「何のために何を学ぶか」なのです。

これからの社会でどのような課題が生じるのか、それを発見し、対応する力はますます必要になってきます。一方で複雑化・多様化する未来の課題に対応するためには、これまでの学びでは足りません。既存の学問領域あるいは成果を融合させ、新たな価値を創り出していくことが求められるのです。そこで学生たちは自身の掲げた課題を解決するために必要な学びは何か、いわゆるバックキャスティング学修として文系・理系を問わず

必要な分野を学んでいき、異分野を融合して課題解決に実践的に取り組んでいきます。

本学類では、各界で未踏のイノベーションの創成をリードする社会変革人材の養成を目指しており、それを実現させるカリキュラムも組まれています。アントレプレナー関連科目や実践型演習、国際インターンシップ(もしくは海外実践留学)等の必修科目もあります。それらの学びを通して、多様な人・価値観に触れ、国際社会で積極的に発信する力、主体的に挑戦していく力を養っていきます。

先導学類の学生は全国各地から意欲ある学生が多く集まっています。互いに刺激しあって切磋琢磨しながら、社会変革を「先導」していく力をつけて世に出ていきます。

社会を変えてみたい、新しいことをやってみたいというあなた。融合学域で、自分を変え、未来も変えてみませんか。文理医融合の学びから新しい社会と未来を創っていきましょう。

観光のイノベーションに向けて

融合学域観光デザイン学類は、先導学類に続いて令和4年4月に創設されました。ここ数年、感染症のパンデミックや国際紛争の勃発などで、世界は危うく不安定になっていますが、それにも関わらず、移動して共感を求める人々のニーズには底堅いものがあります。多様な人々が集い、語らい、理解し合う平和で持続可能な社会を実現する上で、観光は大事な要素の1つです。

観光デザイン学類では、世界と地域をつなぐ架け橋として、新しい観光のイノベーションを担う人材を育てたいと考えています。現代では、移動手段やコミュニケーション・ツールが発達し、「旅」の姿も大きく変わろうとしています。名所でも何でもない普通の場合が、ストーリー次第で驚くほどの人を集める現象があります。また、あちこち移動しながら仕事をすることができるようになりました。逆に、移動せずに、ヴァーチャルに観光地を楽しむことも可能です。これらは、人々の暮らし方

を変え、新しいサービスやビジネスを生み出すと同時に、新しい社会課題も生み出すでしょう。

この学類の特徴の1つは、文理医融合型教育にあります。人文科学、社会科学、自然科学を組み合わせ、プロジェクトを企画・実行できる力を磨きます。これからの観光をデザインするには、数理・データ解析、デザイン力、ビジネススキルなどが必要です。その全てに精通しなくても、それぞれの専門的な役割を知って、それらを組み合わせてマネジメントする方法を学びます。

本学類のもう1つの特徴は、学年の早い段階から実践的な科目を重視していることです。地域の観光プロジェクトに直接携わりながら、専門知識と現場知識を組み合わせ、課題解決に取り組む訓練をします。学生たちには、北陸・金沢の観光資源にあふれた地域フィールドを十分に活用した学修を体験してもらい、地域の観光イノベーションの実践者になってもらいたいと考えています。

スマート科学技術による新たな社会

融合学域スマート創成科学類は、先導学類と観光デザイン学類に続いて令和5年4月に創設されました。近年の科学技術の進歩は目覚ましく、特に人工知能(AI)の急速な進展は、私たちの日常生活に大きな影響を与えています。そのため、スマート創成科学類では、AI、IoT、ビッグデータなどの最先端技術を駆使して、社会課題の解決や新たな価値の創出ができる人材を育成することを目的としています。

スマート創成科学類では、情報科学、電気電子工学、物理学、数学などの基礎から、人工知能を含む情報通信、ロボティクス、画像認識、制御工学などの応用分野まで幅広く俯瞰し学びます。さらに、社会科学や医療分野での知見に基づいたスマート社会を実現する能力を身に付けます。スマート創成科学類は、Well-being、産業の活性化、新産業の創出、安心安全で強靱な社会の実現

など、人々の暮らしを豊かにするために必要なイノベーションを起こす人材の育成を目指しています。

学生たちは、豊富な授業科目の中から自身の興味や能力に応じてカリキュラムを構成することができます。また、実践的なプロジェクトやインターンシップを通じて、企業や地域とのつながりを深めながら、社会課題の解決に取り組むスキルも身に付けることができます。社会の課題を発見し、科学技術の方策を適切に選択し、専門家と協力して解決するためには、指揮者のように様々な楽器を調和させる能力が必要です。

卒業生には、自動運転車の研究・開発、医療機器の開発、ビッグデータを用いたマーケティングの企画・運営、起業家など幅広い分野で多様な職種で活躍することが期待されます。スマート科学技術によって、よりよい社会を創りたい学生に集まってもらいたいと思っています。

INDEX

ご挨拶	1
学域紹介	3
学生指導体制	4
入試情報	5
進路結果	7
融合学域学生の 出身高校所在地	26
ACCESS	27

先導学類	
先導学類とは	9
3つの特長	10
学修マップ	11
カリキュラム	12
学生インタビュー	13

観光デザイン学類	
観光デザイン学類とは	15
3つの特長	16
学修マップ	17
カリキュラム	18
学生インタビュー	19

スマート創成科学類	
スマート創成科学類とは	21
3つの特長	22
学修マップ	23
カリキュラム	24
学生インタビュー	25



スマート創成科学類長
山本 茂

融合学域

College of Transdisciplinary Sciences for Innovation

先導学類 令和3(2021)年4月 設置観光デザイン学類 令和4(2022)年4月 設置スマート創成科学類 令和5(2023)年4月設置

文理医融合の知識を基に、 イノベーションをリードする

「融合学域」は令和3(2021)年4月に誕生した新しい学域です。

「融合学域」は、文理医ボーダレスなカリキュラムや教員・学生のダイナミックな知見の融合により、イノベーション(革新)を創り出し、世界に羽ばたく次世代のリーダーの養成を目的としています。

令和3年度には先導学類へ、令和4年度には観光デザイン学類へ、令和5年度にはスマート創成科学類へそれぞれ初年度入学者を受け入れました。

令和5年度から3年次編入学者の受け入れも開始しました。さらに、令和7年度には接続する大学院課程を設置しさらなる発展が見込まれます。

融合学域の特長 － 自分がチャレンジしたい未来の課題解決の学びを、自分自身で進める －

▶ 文理医の垣根を超えたカリキュラムから多様かつ最新の専門知識を身に付ける

- 偏りのない文理医融合カリキュラム体系で、自らの志向に合わせて最新知見や科学技術を広く深く学びます。
- 3つのコアエリアの授業科目を並行学修し、未来課題を幅広く学びながら自身の課題の方向性を決定します。
- オーダーメイド型の履修指導に基づき、3つのコアエリアの配置科目と2つの探求エリアをバックキャスティング学修※しながら、自身の課題解決の糸口を求めて多様な分野を探求します。
- 社会実装を見据え、STEAM教育や数理・データサイエンス・AI教育の実践により異分野融合教育モデルを構築・拡大していきます。

※バックキャスティング学修

【未来の自分】を起点に、
今必要な学びを選択できる未来の社会で活躍する理想の自分を
思い描いたとき、学び足りないと感じ
る分野が出てくる場合も、そんな時
に学域では学年が進んだ後でも、立ち
戻って専門基礎科目を学ぶことがで
きます。

▶ 共通教育や専門教育のグローバルスタンダードから、他の3学域や学外をも広範に捉える

- 1年次当初から【金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)】に基づく共通教育科目と本学及び融合学域における土台の授業科目を、並行して効果的に学びます。

【金沢大学<グローバル>スタンダード】

金沢大学独自の人材育成基準（6つの学修成果）



1. 自己の立ち位置を知る
2. 自己を知り、自己を鍛える
3. 考え・価値観を表現する
4. 世界とつながる
5. 未来の課題に取り組む
6. 新しい社会を生きる

- 1年次への多様な入学試験に加え、2年次には一括入試入学者が、3年次には編入学試験合格者が、それぞれ融合学域学生に加わることで、ダイバーシティ環境がより豊かになり、共修の幅が広がります。国費外国人留学生優先配置プログラムの採択も受けました。
- 基幹教育特設プログラム「総合地域論」、データサイエンス特別プログラム、先導STEAM人材育成プログラム、防災・復興プログラム等、ダブルメジャーに資する連携プログラムも学べます。

▶ 実践的なアントレプレナーシップ教育から、イノベーション能力を社会で発揮し リードできる人材となる

- 2年次半ばから、身に付けた知見を連携・融合し、自身の設定した課題解決や多様なインターンシップ等による実証実験・社会実装プロジェクト等の立ち上げに挑戦できます。
- 鍛練科目では、プロジェクト実践型演習を課し、ダイバーシティ環境や多様な条件下で最新の知見や他者との共創を学びます。
- 学生自らが企画・立案し、現実社会のシステムや制度、未来の課題を対象に自由な発想で教員や学外者と共にアプローチし、より実践的に学びます。
- 学修をさらに深めたい学生、未来の選択肢を広げたい学生に資するために、令和7年度に大学院課程を設置しました。

融合学域では、文理医融合の多彩な授業科目から、個人に最適な履修科目を選定するため、教員による手厚い履修指導を行います。学生と教員等との協働の場として、毎年次 **ガイダンス**を開催し、未来課題の方向性と課題解決の糸口を結び付けながら、学生の出口志向等を見据えたオーダーメイド型の「**学びの計画書**」を作成していきます。

入学ガイダンス	入学時	入学者対象の、履修ガイダンス及び学類オリエンテーションを行います。
基盤ガイダンス	1年次	クラスごとに配置する指導教員から、履修方法や正課外での活動を含む教務・学生生活全般にわたる指導を受けます。クォーターごとに成績通知も行います。
融合ガイダンス	2年次	各学生の共通教育科目における履修状況や学修進度等を踏まえ、オーダーメイド型の「 学びの計画書 」を作成します。体系化した学びから課題を設定し、教員のアドバイスにより自身の将来像を明確にしていきます。
探求ガイダンス	3年次	コアエリアにおける履修状況や学修進度、未来課題設定に向けた方向性等を踏まえ、「 学びの計画書 」を作成します。必要に応じて他学類開講科目の履修や、基礎的な知見を身に付けるためのバックキャスティング学修*を取り入れます。教員の指導による、多様な分野の学びも未来課題設定につながります。
確立ガイダンス	4年次	指導教員と「 学びの計画書 」の進捗を確認するとともに、個人の学びに応じてバックキャスティング学修*や他学類開講科目等も含めて履修を指導します。さらに、卒業研究・演習・試験に関し、必要に応じて指導教員とは異なる分野の専門家や企業家からの指導も受けられるようアドバイスします。

※バックキャスティング学修：未来の社会で活躍する理想の自分を思い描いたとき、学び足りないと感じる分野が出てくる場合もあります。そんな時、本学域では学知フェーズへ進んだ後でも、立ち戻って専門基礎科目を学ぶことができます。

他にも相談・支援・指導を受けられる部署や機会を多数準備し、他学域教員や、

- キャリア支援室：キャリアコンサルタントやキャリア・産業カウンセラー、産業界や学外経験者が、
- 保健管理センター：フィジカルやメンタルの相談に医師・公認心理師・保健師・看護師が、
- その他に、なんでも相談室(主に1年次)、障がい学生支援室のメンバーや融合系事務部の事務職員が、貴方を待っています。

外国人留学生の人材養成

外国人留学生には、文理医の知見の融合に加えて、数理・データサイエンスによる分析を取り入れながら、融合学域の教育課程を学修する「文理医融合と数理・データサイエンスによるイノベーション共創人材養成プログラム」を提供し、学費免除、学生留学生寄宿舎費助成等の手厚い学生生活支援制度を設けています。

文理医の垣根を超えた学びを提供する多様な教員

融合学域では、60を超える専門分野を網羅する教員が、文理医融合教育を展開しています。

融合学域の教員は原則として、融合研究域融合科学系に所属し、融合学域の学生は自身の課題に沿った教員から指導が受けられます。

教育内容を拡充していくため、今後も教員を増やす予定です。

詳しい教員の紹介は、融合学域Webサイトの教員紹介のページをご覧ください。

<https://innov.w3.kanazawa-u.ac.jp/teacher/>



◆**入学者選抜(一般選抜・前期日程)**の実施教科・科目等・配点など最新情報は、**本学のWebサイト**および**入試情報アプリ**で確認してください。

◆**詳細については、右記二次元コードより、「令和8(2026)年度入学者選抜要項」「令和8(2026)年度学生募集要項」を必ず確認してください。**

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/boshuyoko>



令和8年度入学者選抜の基本方針

【入学定員】 先導学類 55名 観光デザイン学類 55名 スマート創成科学類 55名

1. 一般選抜

前期日程／文系傾斜・理系傾斜

募集人員

先導学類

【文系傾斜】20名【理系傾斜】20名

観光デザイン学類

【文系傾斜】23名【理系傾斜】14名

スマート創成科学類

【文系傾斜】15名【理系傾斜】27名

文系傾斜では、基礎学力を問うとともに、先導学類及び観光デザイン学類では英語に加え、国語、数学、総合問題のいずれか2科目を、スマート創成科学類では数学、英語に加え、国語又は総合問題を課し、理系傾斜では、基礎学力を問うとともに、数学、理科及び英語を課して、いずれも学力を多面的に評価します。

前期日程／文系一括・理系一括

募集人員

先導学類

【文系一括】3名【理系一括】3名

観光デザイン学類

【文系一括】2名【理系一括】2名

スマート創成科学類

【文系一括】1名【理系一括】3名

文系一括では、基礎学力に加え、英語の学力と総合的な課題(総合問題)の理解力・論理的思考力・表現力等を、理系一括では、数学及び英語の基礎学力に加え、物理又は化学の学力を、それぞれ重視します。なお、一括入試での入学者は、国際基幹教育院総合教育部に1年間所属し、2年次進級時に、本人の志望、学業成績等を考慮の上、移行学類を決定します。

2. 特別選抜

KUGS特別入試／総合型選抜Ⅱ

募集人員

先導学類 6名

観光デザイン学類

【一般枠】6名【特別枠(地域枠)】6名

スマート創成科学類 3名

基礎学力に加え、口述試験(プレゼンテーションを含む。)では、表現力及び平素の努力のプロセスや本学入学後の勉学意欲等を多面的・総合的に判定します。

KUGS特別入試／デジタル人材選抜Ⅱ

募集人員

スマート創成科学類 6名

基礎学力に加え、口述試験(プレゼンテーションを含む)では、表現力及び平素の努力のプロセスや本学類で実施される高度情報専門人材育成への明確な志向と本学入学後の勉学意欲等を多面的・総合的に判定します。

KUGS特別入試／防災・復興人材選抜Ⅱ

募集人員

観光デザイン学類 2名

基礎学力に加え、口述試験(プレゼンテーションを含む)では、表現力及び平素の努力のプロセスや本学類で実施される防災・復興人材育成への明確な志向と本学入学後の勉学意欲等を多面的・総合的に判定します。

上記のほか、KUGS特別入試/英語総合選抜Ⅱ、超然特別入試/A-lympiad選抜Ⅰ、超然特別入試/超然文学選抜、在外留学生推薦入試、社会人選抜、帰国生徒選抜、国際バカロレア入試、私費外国人留学生入試を、募集人員若干名(在外留学生推薦入試は先導学類のみ3名)にて実施しています。

3年次編入学試験

融合学域 3年次編入学 募集人数

区分	先導学類	観光デザイン学類	スマート創成科学類
一般選抜	15	15	20
外国人留学生選抜	10	若干名	若干名
社会人選抜			
合計	25	15	20

3年次編入学試験では、一般選抜、外国人留学生選抜、社会人選抜を実施し、短期大学や高等専門学校を卒業した者、また大学に2年以上在学し、62単位以上修得した者等に加え、留学生や社会人を受け入れています。

本学域に1年次から入学する者に加え、留学生や社会人等の3年次編入学者を受け入れ、日常的に多様な背景を持つ他者との共創やグローバルな観点で課題探求に取り組む、ダイバーシティ教育環境を構築します。

詳細は融合系事務部 入試情報のサイトをご確認ください。
<https://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/yugo/yugonyusi/>



令和8年度KUGS特別入試 一般選抜との併願可能です

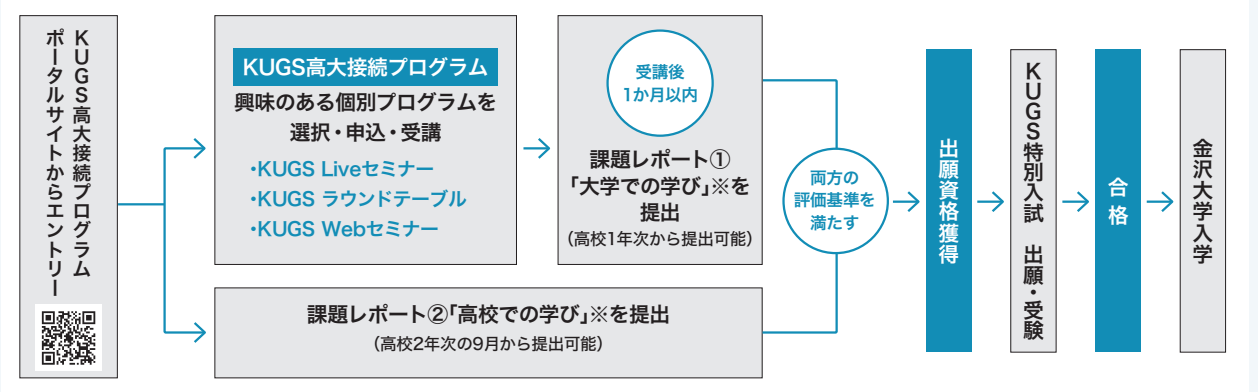
融合学域の「KUGS 特別入試」には、総合型選抜Ⅱ(一般枠、地域枠(観光デザイン学類のみ))、デジタル人材選抜Ⅱ(スマート創成科学類のみ)、防災・復興人材選抜Ⅱ(観光デザイン学類のみ)、英語総合選抜Ⅱの4つの選抜があります。入試では、入学を希望する学類のアドミッション・ポリシー(入学者受入方針)*に基づき、口述試験により「主体性」「協働性」などを評価し、志願者の能力・資質及び意欲に重点を置いた選抜を行います。また、融合学域では、いずれの選抜も大学入学共通テストを課します。

*各学類のアドミッション・ポリシー(入学者受入方針)については、5頁冒頭の二次元コードより「入学者選抜要項」「学生募集要項」をご確認ください。

「KUGS特別入試」では、以下の①～④のいずれかに該当する場合に出願資格を与えます。

- ① 本学が提供する「KUGS 高大接続プログラム」を受講した高校生などが、当該プログラムで課される課題レポートと、高等学校若しくは中等教育学校での探究的な学びや課題意識を持って取り組んだ各種活動に関する課題レポートを提出し、KUGS に基づく評価基準で評価を受け、出願が認められた者
- ② 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者(グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより、一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者)であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者
- ③ 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者であり、本学の場合は、金沢大学STELLAプログラムシニアコースのCステージを修了した者
- ④ 本学の科目等履修生<高校生等用>制度により1単位以上修得した者
- ⑤ デジタル人材選抜Ⅱ及び防災・復興人材選抜Ⅱでは、学類が課す志願理由書を出願時に提出し、合格した場合は学類が課す入学前教育を受講することを確約する者

例えば、出願資格①のKUGS高大接続プログラムについて、受講からKUGS特別入試、そして入学までの流れは次のとおりです。



※KUGS 高大接続プログラムからKUGS 特別入試の出願資格を得るためには、「①大学での学び」及び「②高校での学び」を提出し、両方とも評価基準を満たす必要があります(提出願はどちらが先でも構いません)。受験する年度の8月31日までに①及び②のレポート提出が必要。評価基準に満たなかった場合は、評価を受けてから2週間以内に再チャレンジ可能です。

KUGS高大接続プログラムポータルサイト
本学 トップページ>入試情報・高大院接続>KUGS高大接続プログラム
<https://kugspro.adm.kanazawa-u.ac.jp/>



融合学域に接続する大学院の設置 ～総合知創出で未来社会を創造～

融合学域の教育研究に接続する大学院課程として、令和7(2025)年4月、新学術創成研究科総合知創出科学専攻修士課程を設置しました。

総合知創出科学専攻は、多様な知を集積して総合知の社会展開に貢献することで社会の未来を創ります。

多様な「知」が集い、新たな価値を創出する「知の活力」を生むことこそが「総合知」であり、「総合知」を推し進めることが、科学技術・イノベーションの力を高めることにつながると考えます。

文理医融合教育を深化、高度化し、総合知創出と、その人材育成を目指します。

学生募集など詳細については、下記Webサイトをご確認ください。

金沢大学大学院新学術創成研究科
<https://gsinfinity.w3.kanazawa-u.ac.jp/>



令和7年3月卒業融合学域先導学類卒業者の進路結果

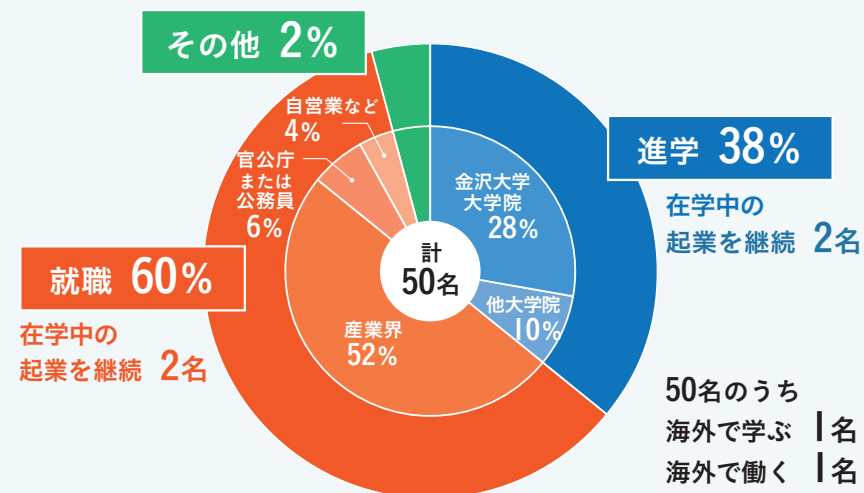
融合学域では令和7年3月に先導学類から50名が初めて卒業しました。卒業後の進路は様々ですが、共通するは「自分の道を自分で切り拓く」キャリアに対する考え方です。自分がやりたいこと、解決したい課題を軸に進学や就職先、働き方を選んだ学域一期生の進路の結果をお知らせします。

進学先

- 金沢大学大学院新学術創成研究科 総合知創出科学専攻(融合学域接続)
- 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 医科学専攻
- 金沢大学大学院人間社会環境研究科 人文学専攻
- 北陸先端科学技術大学院大学
- 筑波大学大学院人間総合科学学術院
- 滋賀大学大学院データサイエンス研究科
- 京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科とUniversity of the Arts London(ロンドン芸術大学大学院)ダブルディグリーの修士課程プログラム など

就職先

- セイコーエプソン 事務職
- 日立製作所 営業統括・マーケティング
- 北陸電力 コーポレート&セールス職
- NTTデータエンジニアリングシステムズ SE/プログラマ
- P F U SE/プログラマ
- 日本総合研究所 SE/プログラマ
- 日本政策投資銀行 北陸支店 事務職
- 三井住友海上火災保険 事務系総合職
- 角川ドワンゴ学園 メンター
- 国税庁 金沢国税局 国税専門官
- 経済産業省 国家一般職 など



在学中に6名が起業し、4名が卒業後も学業や就職先の業務と並行して継続しています。

また、10名の卒業生が起業を予定、検討しています。また、2名が海外に進学や就職で飛び出します。

令和7年3月に卒業せず休学している学生も、在学中に起業した法人の業務に専念したり、留学先での学びを深めるなど、既成概念にとらわれずにそれぞれの道を切り拓いています。

卒業生の紹介

石川 悠さん

2025年3月 先導学類卒業(第一期生)

融合学域先導学類3年次に株式会社 FitLinxを起業した。現在は、金沢大学大学院医薬保健学総合研究科(修士課程)に在学し、研究を行いながら会社を運営し、運転中の操作から軽度の認知症を早期に発見する技術を開発している。先導学類在学時に医療情報解析や医療経済を学び、医療、工学、経済の融合的視点を習得し、システムベンダーと協力して管理栄養士レベルの能力を持つ特化型のLLMを開発。その経験はラボにとどまらない社会実装(=収益性が期待できること)を前提とした研究開発に役立っている



先導学類

Innovation in Society × Business

2021年4月 設置

社会変革を先導し
イノベーションの創成をリードする

Entrepreneurial & Innovation Studies
Kanazawa University



令和3(2021)年 4月設置 融合学域 先導学類

School of Entrepreneurial and Innovation Studies, College of Transdisciplinary Sciences for Innovation

AI(人工知能)時代を迎え課題解決能力が重視される社会で生きていくためには、学問分野を問わず自分のチャレンジしたい課題を自分で進める学びが必要とされます。様々な人々と関わりながら、複雑で幅広い社会課題の解決を先導する次世代のリーダーを養成することを目的に、令和3(2021)年に融合学域先導学類を設置しました。

鍛練科目では、国際インターンシップと海外実践留学いずれかを必修とすることに加え、プロジェクト実践型演習を課し、ダイバーシティ環境や多様な条件下で最新の知見や他者との共創を学びます。

また、学生自らが企画・立案し、現実社会のシステムや制度、未来の課題を対象に自由な発想で教員や学外者と共にアプローチし、より実践的に学ぶ環境もあります。

【一般選抜】

前期日程(文系傾斜、理系傾斜)、
前期日程(文系一括、理系一括)

【特別選抜】

KUGS特別(総合型Ⅱ、英語総合Ⅱ)、
超然特別(A-lympiadⅠ、超然文学)、
在外留学生推薦、社会人、帰国生徒、
国際バカロレア、私費外国人留学生、
国費外国人留学生

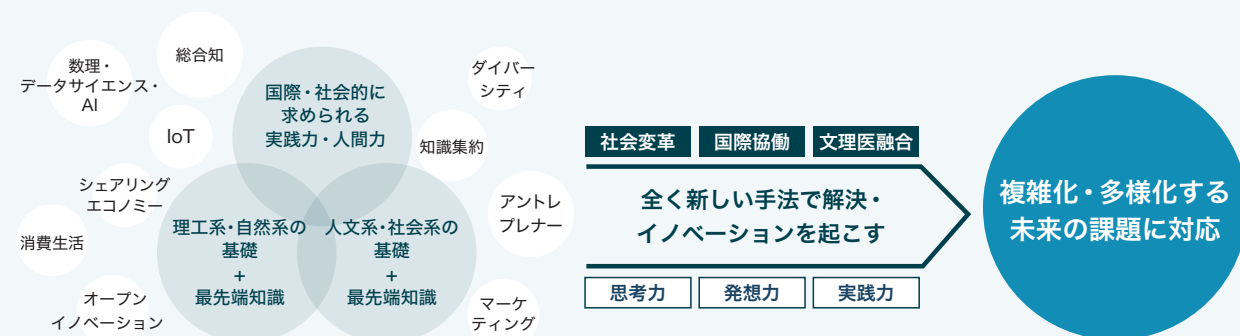
アントレプレナーシップ*を育て、 社会課題の解決を先導する次世代のリーダーになろう！

【求める人材】

先導学類では、次のような意欲ある入学者を求めます。

- 様々な分野の知識を学び、それらを統合して課題発見・解決を率先したい人
- 多様な制度・慣習等に知的関心を有し、より良い未来社会づくりに貢献したい人
- 最先端の学知を連携・融合し、社会変革に資する新たな先導に挑戦したい人

*アントレプレナーシップ 日本語で「起業家精神」。新しい事業や価値を生み出し、課題やリスクに果敢に立ち向かう能力。



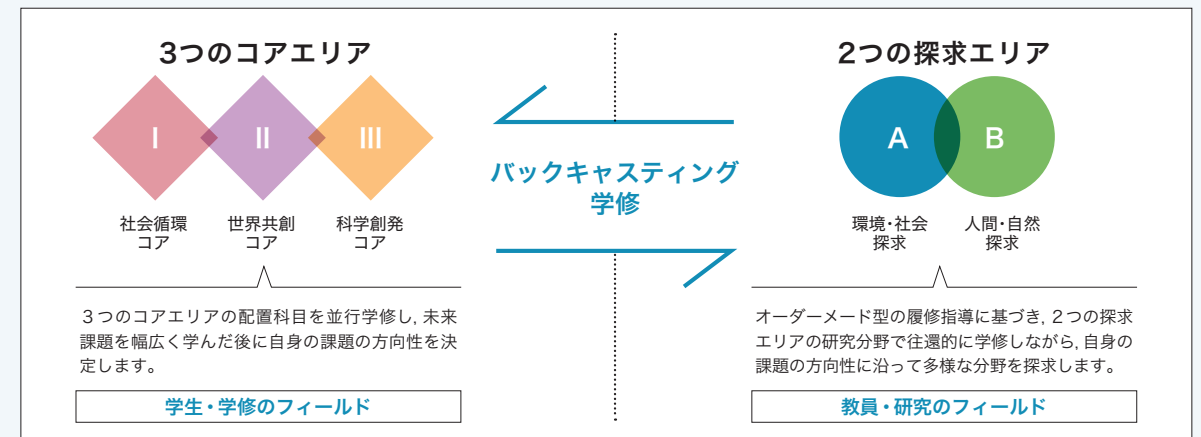
柔軟に学ぼう！

文理医融合エリアで基礎から展開力ある専門知識を身に付ける

- ▶ 1年次からコア科目の履修を開始し、〈コアエリア×探求エリア〉による学修を実践します。
- ▶ 偏りのない文理医融合エリアのもと、自らの志向に合わせて最新知見や科学技術を広く深く学ぶことができます。

【コアエリア × 探求エリア】

基礎から体系的に学修しながら、先鋭的な学びも横断して学修できるカリキュラム。



社会へ飛び出そう！

多様な人々や価値観に触れ、人間力を鍛える

- ▶ 実践科目や鍛練科目を通じて、社会との共創を学びます。
- ▶ 1年次から産業界や地域の支援を受けた学修を進め、社会からも学びます。
- ▶ 2年次以上では、アントレプレナーインターンシップ・海外実践留学・国際インターンシップなど海外研修を必修とし、国内インターンシップの社会経験を重ね、実践力を身に付けます。

【アントレプレナーシップの養成】

産業界や地域と連携し、学内外で起業家精神や実践手法を学ぶ。



自ら実践しよう！

未来の課題を発見し、社会変革に挑戦する

- ▶ 3年次半ばから4年次には、身に付けた知見を連携・融合し、自身の設定した課題解決やインターンシップによる実証実験・社会実装プロジェクト等の立ち上げに挑戦できます。
- ▶ 産業界・金融機関を端緒としたプラットフォームでソリューションを実践的に学びます。

【プロジェクト実践型演習】

自らが設定した未来課題とその解決策について、より実践的なものとして深化させる。



先導学類の特色

【第5期科学技術基本計画(2016年1月)】

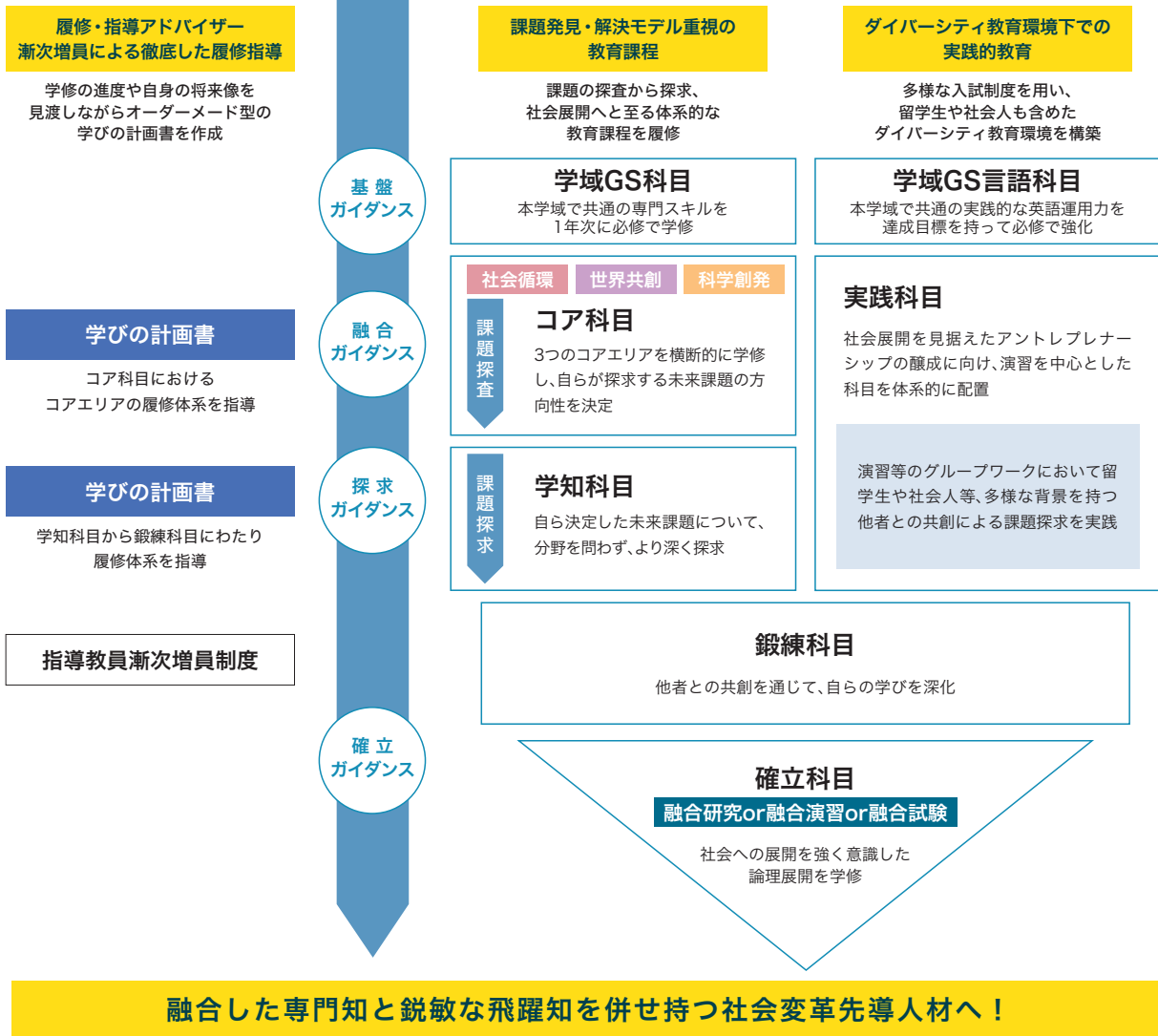
科学技術イノベーションを「科学的な発見や発明等による
新たな知識を基にした知的・文化的価値の創造
と、それらの知識を発展させて**経済的・社会的・公共的
価値の創造**に結び付ける革新」と定義

【統合イノベーション戦略(2018年6月)】

科学技術イノベーションを生み出す人材を輩出するための教育システムの
構築は根本的な課題であり、**理工系と人文・社会系も含めた多様
な分野を融合する教育システムを構築**し、非理工系の知を科学技
術イノベーションに生かすにはどうすべきかについて検討する必要がある。

これらの国の提言等を踏まえ、**文理医融合型教育**や**アントレプレナーシップ教育**を体系的に行い、新たな社会変革の先導に取り組みます。

【専門教育マップ】



【先導学類卒業時に達成する学修成果】

- ・社会変革を先導するための多面的な最新の知見を学び、それを理解する力
- ・未来課題を理解し、ヒト・モノ・コトに関する多様な情報を収集・分析する力
- ・総合知を背景に課題解決や社会展開に向けて論理的に考える力
- ・語学や異文化に関する知見を有し、自己の使命を果たすべく、国際社会で積極的に発信する力
- ・事業創造等に高い意欲を持ち、主体的・積極的に挑戦していく姿勢や発想、行動する力

【授与学位】
学士(学術)

多様な分野やシステムを
融合的・統合的に学修したことを示す
本学で本学域だけが授与する学位

社会変容を背景に、アントレプレナーシップ養成型の階層化した教育課程で、最新知見や科学技術を広く深く学ぶことができます。

共通教育科目 36単位以上

導入科目 GS科目 GS言語科目 基礎又は初習言語科目 自由履修科目

専門教育科目 88単位以上

学域GS科目 6単位	アカデミックスキル 数理・データサイエンス基礎及び演習	プレゼン・ディベート論 デザイン思考	イノベーション基礎
------------	--------------------------------	-----------------------	-----------

学域GS言語科目 2単位	学域GS言語科目Ⅰ／海外実践英語 学域GS言語科目Ⅲ(Interaction) 学域GS言語科目Ⅲ(Reading and Discussion)	学域GS言語科目Ⅱ／時事・学術英語 学域GS言語科目Ⅲ(English for STEM students)	学域GS言語科目Ⅲ(Presentation) 学域GS言語科目Ⅲ(Science and Society)
--------------	---	---	---

専門基礎科目

実践科目 10単位	アントレプレナー基礎 デザイン思考演習 アントレプレナーコンテスト／実践リーダー	アントレプレナー演習Ⅰ アントレプレナーインターンシップ	アントレプレナー演習Ⅱ アントレプレナーコンテスト／リーダー養成
-----------	--	---------------------------------	-------------------------------------

コア科目 18単位	社会循環コアエリア ファイナンス基礎 AIと未来社会 倫理学	現代社会を知る 社会変動と労働生産性 シェアリングエコノミー	フィンテック基礎とビジネス応用 超スマートシティと Society 5.0 消費生活論
-----------	--	--------------------------------------	---

世界共創コアエリア

ダイバーシティ促進 IDGと社会変革人材 SDGs基礎	マーケティング基礎 異文化理解とキャリア開発 グローバリゼーション	グローバル・アントレプレナー論 国際世界と特許 ビジネスと政治・経済
-----------------------------------	---	--

科学創発コアエリア

テクノロジー基礎 数理統計学基礎 IoT技術	人工知能 社会的な視点から見る医療 生命科学的な視点から見る医療	世界変革技術論 世界の課題と技術トレンド 未来医科学
------------------------------	--	----------------------------------

専門科目

学知科目 30単位	先導数学 SDGs実践 マーケティング論 情報ネットワーク プロジェクト・マネジメント 都市・交通デザイン 知的財産法 地域包括ケアと地方創生 マテリアル科学 データベース論 比較制度論 機械学習 AI・IoT健康福祉学 環境基礎科学	先端医学 データサイエンス実践 経営管理論 心理学概論 医療制度改革と医療経済 ESG投資 生活環境学 経営戦略論 国際経営論 プレジジョンメディシン 地域政策論 イノベーション・マネジメント フィジカル・ブレイン接続 学知特別講義	プログラミングスキル 需要予測 創業支援論 公共政策論 コンピュータとデジタル回路 生活デザイン論 超高齢社会と科学技術 アプリ開発 管理会計論 ブランニング最適化 未来型ヘルスケアシステム レギュラトリサイエンス コンピュータと電子回路
-----------	--	---	---

鍛練科目 4単位	先導プロジェクト演習 海外実践留学3 海外実践留学6 国際インターンシップ1 国際インターンシップ4 国際インターンシップ7 潜在課題探査分析	海外実践留学1 海外実践留学4 海外実践留学7 国際インターンシップ2 国際インターンシップ5 国際インターンシップ8	海外実践留学2 海外実践留学5 海外実践留学8 国際インターンシップ3 国際インターンシップ6 学術考究
----------	---	--	---

確立科目 8単位	融合研究	融合演習	融合試験
----------	------	------	------

自主選択枠 10単位以上	【すべての専門教育科目から】
--------------	----------------

先導学類の4年生に聞きました!!

来春卒業する4年生は先導学類でどのような学びを得て社会に出ようとしているのでしょうか。お二人にきいてみました。



先導学類4年次
上條 陸斗さん
[長野県出身]

(先導学類での学びから) 卒業後の進路を決めた理由

卒業後は地方銀行に就職予定。決めた理由は、アントレプレナー演習という必修授業や2×2インターンシップといった留学プログラム(3年次にタイに4カ月間滞在、4年次にインドに1カ月半滞在予定)への参加を通して、地方課題の解決や地方企業の海外展開支援に興味を持ち、自分の地元である長野県でそれらの課題解決をしたかったから。

先導学類に入学した理由

高校時代は理系だったが、将来の選択肢を広げるために文系・理系両方の分野を学べる学部を探していたところ、先導学類の複数の学問を融合して物事を考える力を養える点に魅力を感じ、志望した。

コアエリア

社会循環コアエリア

選択した理由

ファイナンスやフィンテックに関する授業に興味があったから。

プロジェクト演習

シン産業化演習

指導教員

松島大輔先生

演習の内容 選択理由

企業との講座を通じた、キャリア教育及び就職活動の企画・実施

融合演習(研究)

大学媒介型採用活動モデル構築と学生のキャリアオーナーシップの醸成

指導教員

松島大輔先生

演習(研究)の内容 選択理由

大学授業を活用し、企業との接点やキャリアについて早期から考える機会を創出。外国人材定着のための留学プログラムの設計。

その他学内外のプロジェクト

2×2インターンシップ(融合学域産学融合研究会主催留学プログラム)

参加した理由

一般的な語学留学とは異なり、実践的な学びが得られる点に魅力を感じた。このプログラムでは、地方企業の強みを活かして海外現地の課題を解決するため、課題設定能力や目標達成に向けた逆算的なアプローチ力が身につけられた。



先導学類4年次
櫛居 美穂子さん
[神奈川県出身]

(先導学類での学びから) 卒業後の進路を決めた理由

大学で「持続可能な地域づくり」に興味を持ち、そのために学問分野を限定せず実践的に学びたいと思ったので、卒業後はそのまま融合学域接続の大学院(総合知創出科学専攻)に進学し、能登町をフィールドに「持続可能な地域づくり」を実践していく予定。

先導学類に入学した理由

好奇心旺盛な自分に環境があったから。また、世の中をよくしたいと思った時複雑に絡み合った社会課題に対応するためには、体系的な視点で物事を構造的に捉える力と、文系的な視点で人の気持ちや社会の背景を読み解く力の両方が必要なので、この学類でより深く・柔軟に課題をとらえ、解決に向けて実践する力をつけられると考えたから。

コアエリア

世界共創コアエリア

選択した理由

自分の興味ある分野の科目を取った結果として世界共創コアとなった。

他学域履修

地域創造学類、観光デザイン学類等

選択した理由

先導学類の枠を超えて「持続可能な地域づくり」の実現のために必要な要素を見つけ、視野を広げるため。

プロジェクト演習

環境とWell-being

演習の内容 選択理由

環境問題への取り組みにネガティブな印象を持たれがちな日本社会では、人々がポジティブな感情を持ちつつ環境への意識や配慮行動を高めていくプロセスが重要だと考え、楽しみながら参加できるゴミ拾いイベントを様々なステークホルダーと共に企画・実施しWell-beingの実現を目指した。

指導教員

河内幾帆先生

融合演習(研究)

サーキュラーエコノミーへのトランジションに向けた研究

演習(研究)の内容 選択理由

持続可能な地域づくりに向けて、サーキュラーエコノミーは環境と経済が両立する手段として注目されており、先行地域において、地域住民(消費者)の「主体的参加」がどのように生まれているのか、そのプロセスを解明する。

指導教員

河内幾帆先生

その他学内外のプロジェクト

旅と海ごみ(学生団体ぐるぐるラボ) 宇出津コミュニティラボ(NPO法人化予定)

参加した理由

旅と海ごみ(学生団体ぐるぐるラボ):環境問題(海洋プラスチック問題)に対して楽しくアプローチするというスタンスに惹かれたから。宇出津コミュニティラボ:過疎化と震災復興が進む能登町をフィールドに持続可能な地域づくりを実践していくため。

prob_kanazawa = exp(V_kanazawa) / (exp(V_kanazawa) + exp(V_Toyama));



観光デザイン学類



Tourism Sciences & Design
Kanazawa University

Tourism × Technology × Business

2022年4月 設置

新たな観光価値をデザインし、
イノベーションの創成をリードする



令和4(2022)年 4月設置

融合学域

観光デザイン学類

School of Tourism Sciences and Design, College of Transdisciplinary Sciences for Innovation

観光デザイン学類は、日々めまぐるしく変化する観光の世界で、新しい観光価値を生み出す次世代のリーダーを養成する目的で、令和4(2022)年に設置しました。

文理医融合の視点から、伝統文化やまちづくり、地方創生、データサイエンスやIoT技術、防災、持続的な発展や産業構造転換など、観光についてあらゆる角度から幅広く学ぶことができます。

自治体や地元企業とも連携した講義や演習が行われ、観光都市である金沢を中心に令和6年能登半島地震後の地域復興への観光戦略も含めた実践的な学修ができます。

【一般選抜】

前期日程(文系傾斜、理系傾斜)、
前期日程(文系一括、理系一括)

【特別選抜】

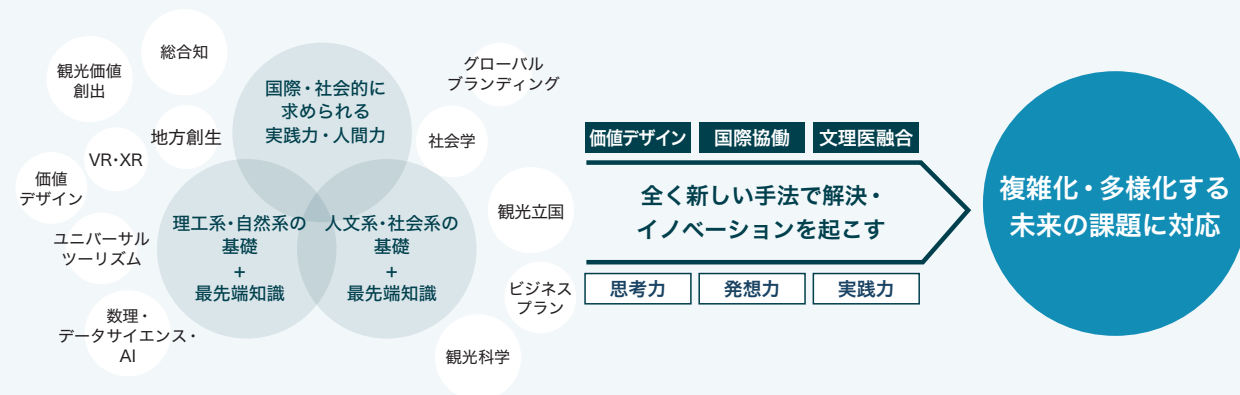
KUGS特別(総合型Ⅱ、防災・復興人材Ⅱ、
英語総合Ⅱ)、超然特別(A-lympiadⅠ、超然文学)、
在外留学生推薦、社会人、帰国生徒、
国際バカロレア、私費外国人留学生、
国費外国人留学生

新たな観光価値をデザインし、
観光にかかわる次世代のリーダーになろう！

【求める人材】

観光デザイン学類では、次のような意欲ある入学者を求めます。

- 様々な分野の知識を学び、それらを統合して課題発見・解決を率先したい人
- 多様な制度・慣習等に知的関心を有し、より良い未来社会づくりに貢献したい人
- 最先端の学知を連携・融合し、観光に資する新たな価値創出に挑戦したい人



3つの特長

柔軟に学ぼう！

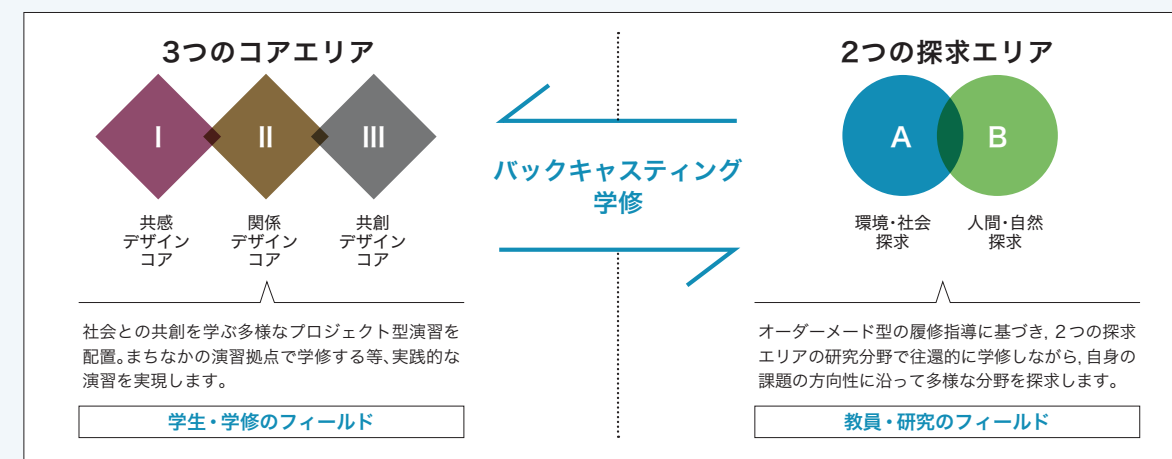
文理医融合で基礎から応用力ある専門知識を身に付ける

- ▶ 偏りのない文理医融合エリアのもと、自らの志向に合わせて最新知見や科学技術を広く深く学ぶことができます。
- ▶ 観光をはじめ、ビジネスやテクノロジーに関する基礎を人文科学・社会科学・自然科学の3つのアプローチで観光の基礎を学びます。
- ▶ 3つのコアエリアと2つの探求エリアを往還的に学び、自己の「問い」を深化させます。



【コアエリア × 探求エリア】

基礎から体系的に学修しながら、先鋭的な学びも横断して学修できるカリキュラム。

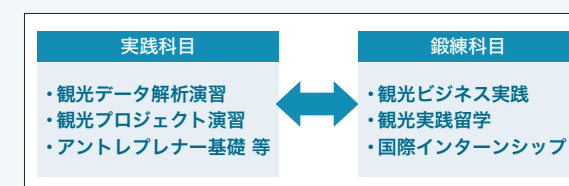


社会へ飛び出そう！

多様なプロジェクト参画で社会との共創や実践力を学ぶ

- ▶ 実践科目や鍛練科目を通じて、社会との共創を学びます。
- ▶ まちなかの演習拠点でも、自治体や産業界と連携した学修を実践します。
- ▶ 観光ビジネス実践、観光実践留学、国際インターンシップから選択し、短期から長期にわたるプロジェクトを実践します。
- ▶ 専門知を基軸としながら、学生の自由な発想により、社会と共創した新しい観光価値を創出します。

【新機軸を打ち出す多様なプロジェクトに参画】



地方創生を考えよう！

魅力ある観光の価値デザインを地域でのプレゼンスに活かす

- ▶ 地域×本学×産業のシナジー効果を見据え、これからの地方創生をデザインします。
- ▶ 地域の資源・課題・知見を活かして、思考・発想・実践を多面的に捉え、経済活性化、産業創出・振興及び温故知新を学びます。
- ▶ 石川県・金沢市を端緒としたプラットフォームでソリューションを実践的に学びます。
- ▶ 文理医融合データ駆動型観光科学教育によるイノベーション創出の展開と普及にも取り組みます。



観光デザイン学類の特色

【経済財政運営と改革の基本方針2020(2020年7月)】

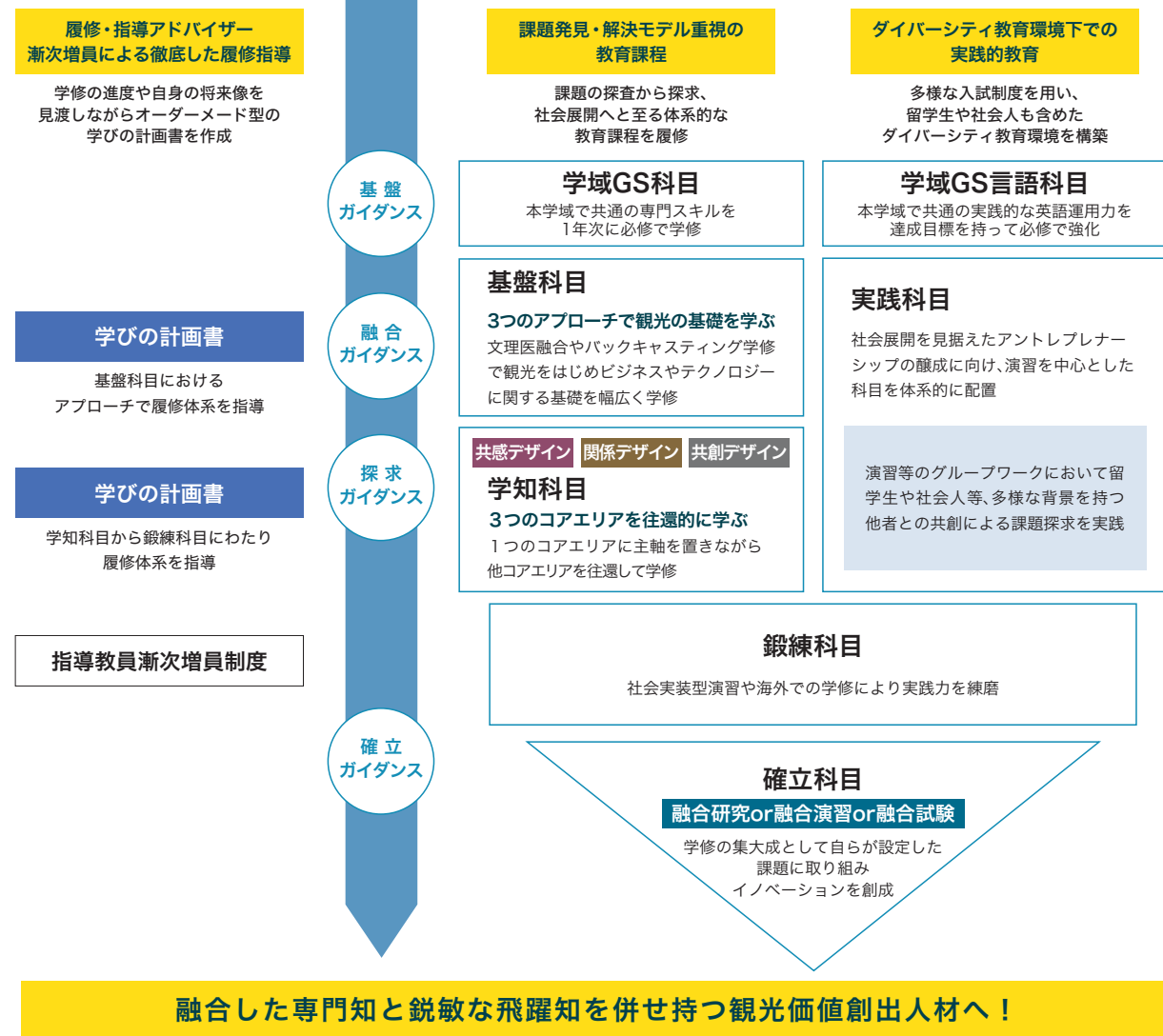
ポストコロナ時代においてもインバウンドは大きな可能性があり、2030年に6000万人とする目標等の達成に向けて、**観光先進国を実現するために官民一体となって取り組む。**

【知的財産戦略ビジョン(2018年6月)】

経済的価値にとどまらない多様な価値が包摂され、そこで多様な個性が多面的能力をフルに発揮しながら、「**日本の特徴」をもうまく活用し、様々な新しい価値を作って発信し、世界の共感を得る。**

これらの国の提言等を踏まえ、**文理医融合型教育**や**アントレプレナーシップ教育**を体系的に行い、新たな観光デザインに取り組みます。

【専門教育マップ】



【観光デザイン学類 卒業時に達成する学修成果】

- ・観光価値をデザインするための多面的な最新の知見を学び、それを理解する力
- ・未来課題を理解し、ヒト・モノ・コトに関する多様な情報を収集・分析する力
- ・総合知を背景に課題解決や社会展開に向けて論理的に考える力
- ・語学や異文化に関する知見を有し、自己の使命を果たすべく、国際社会で積極的に発信する力
- ・価値創出等に高い意欲を持ち、主体的・積極的に挑戦していく姿勢や発想、行動する力

【授与学位】
学士(学術)

多様な分野やシステムを
融合的・統合的に学修したことを示す
本学で本学域だけが授与する学位

社会学を背景に、課題発見・解決・展開モデル型の階層化した教育課程で、最新知見や科学技術を広く深く学ぶことができます。

共通教育科目 36単位以上

導入科目 GS科目 GS言語科目 基礎又は初習言語科目 自由履修科目

専門教育科目 88単位以上

学域GS科目	6単位	アカデミックスキル 数理・データサイエンス基礎及び演習	プレゼン・ディベート論 デザイン思考	イノベーション基礎
学域GS言語科目	2単位	学域GS言語科目Ⅰ／海外実践英語 学域GS言語科目Ⅲ (Interaction) 学域GS言語科目Ⅲ (Reading and Discussion)	学域GS言語科目Ⅱ／時事・学術英語 学域GS言語科目Ⅲ (English for STEM students)	学域GS言語科目Ⅲ (Presentation) 学域GS言語科目Ⅲ (Science and Society)

専門基礎科目

実践科目	13単位	アントレプレナー基礎 観光DX・PBL演習Ⅰ ワークショップデザイン演習 ビジネスプラン作成演習 アプリ開発 観光プロジェクト演習Ⅱ	アントレプレナー演習Ⅰ 観光DX・PBL演習Ⅱ 観光データ解析演習 地理情報システム演習 創生インターンシップ 観光プロジェクト演習Ⅲ	アントレプレナー演習Ⅱ 観光調査法 形態・色彩デザイン論 プログラミングスキル 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅳ
-------------	------	---	--	--

基盤科目	19単位	ホスピタリティ概論 観光デザイン学基礎 フィンテック基礎とビジネス応用 観光倫理学 異文化理解とキャリア開発 北陸観光産業論 交流ネットワーク工学 北陸の農林水産・製造業 数理行動モデル基礎	ファイナンス基礎 世界変革技術論 マーケティング基礎 観光の公衆衛生学 SDGs基礎 日本の工芸とデザイン ダイバーシティ促進 シェアリングエコノミー	テクノロジー基礎 人工知能 超スマートシティとSociety 5.0 観光法制度論 数理統計学基礎 金融工学 北陸の都市・農村・文化 観光地域ビジネス論
-------------	------	---	--	---

専門科目

学知科目	26単位	共感デザインコアエリア エンタテインメントマネジメント論 文化と消費社会 比較地域発展論 文化遺産論 国際プロジェクトマネジメント・評価法 資源活用と環境共生 実践ブランディング	SDGs実践 持続的な観光 グローバルブランディング論 文化と地域経済 自然観光論 人間工学	文化観光論 伝統文化変容論 ヘリテージ・インタープリテーション 生活デザイン論 観光資源開発論 観光資源マネジメント論
-------------	------	---	---	--

関係デザインコアエリア

IoT技術 Web・クチコミ社会動向分析 情報政策論 時空間データ解析 交通工学 国際コンフリクト・マネジメント 需要予測	データサイエンス実践 観光データ解析応用 グローバル・アクセシビリティ論 知的財産法 観光VR・XR プランニング最適化 観光IT戦略論	行動経済学 観光産業DX発展 都市・交通デザイン 統計的意思決定論 国際メディア分析論 データベース論
---	--	--

共創デザインコアエリア

観光地経営論 観光開発・計画論 工業デザイン コミュニティ・デザイン論 都市計画 計画プロセス ホスピタリティ・マネジメント	地域観光政策論 地域社会学 イベント経営論 リノベーション論 ソーシャル・ビジネス論 観光社会学 防災と観光	環境と観光 景観デザイン学 地域マネジメント論 社会システム工学 パブリックスペース論 地域居住論
--	--	--

鍛練科目	4単位	観光ビジネス実践A 観光実践留学1 観光実践留学4 観光実践留学7 国際インターンシップ2 国際インターンシップ5 国際インターンシップ8	観光ビジネス実践B 観光実践留学2 観光実践留学5 観光実践留学8 国際インターンシップ3 国際インターンシップ6	観光ビジネス実践C 観光実践留学3 観光実践留学6 国際インターンシップ1 国際インターンシップ4 国際インターンシップ7
-------------	-----	---	--	--

確立科目	8単位	融合研究	融合演習	融合試験
-------------	-----	------	------	------

自主選択枠 10単位以上 【すべての専門教育科目から】

観光デザイン学類の4年生に聞きました!!

来春卒業する4年生は観光デザイン学類でどのような学びを得て社会に出ようとしているのでしょうか。お二人にきいてみました。



観光デザイン学類4年次
中條 栞さん
【石川県出身】

（観光デザイン学類での学びから）卒業後の進路を決めた理由

メディア業界に進む予定。観光デザイン学類で北陸をフィールドに幅広く学ぶ中で、改めて北陸への愛着が深まった。北陸の魅力や地域の課題など、地域の「今」を捉えた報道を通して人々の意識や行動に働きかけ、地域を明るくする存在でありたい。

観光デザイン学類に入学した理由

日本有数の観光都市である、ふるさと金沢で観光を実践的に学ぶことに惹かれたから。観光デザイン学類一期生として入学し、学類を一から創っていけることにワクワクを感じていたから。

学知科目

共感デザインコアエリア

選択した理由

「持続的な観光」の分野に強い関心があったから。

プロジェクト演習

犀川利活用促進プロジェクト

指導教員

丸谷耕太先生

演習の内容 選択理由

幼い頃からなじみ深い犀川の河川敷をフィールドとしたイベント運営に携わりたかったから。

融合演習（研究）

観光客がお土産に求めるものとオーセンティシティの関係

指導教員

丸谷耕太先生

演習（研究）の内容 選択理由

観光客が金沢のお土産に求めている要素（ニーズ）と、地域が本当に伝えたい「金沢らしさ」との関係性を考察する。観光客のニーズと地域の価値観との間にあるギャップを明らかにすることで、地域の本質的な価値を適切に伝え、観光客からも共感を得られるお土産づくりに寄与したい。

その他学内外のプロジェクト

ライター活動や公式Instagramの運営をはじめとした、融合学域や大学全体のPR活動をリードしました。融合学域で得た学びやワクワクを一人でも多くの人に伝えたい！という思いで、学内外で様々なPR活動に挑戦しました。

高校生にメッセージ

観光デザイン学類でしかできないたくさんの経験や挑戦があります！素敵な仲間と一緒に充実した四年間を過ごしませんか？



観光デザイン学類4年次
熊田 壮馬さん
【大分県出身】

（観光デザイン学類での学びから）卒業後の進路を決めた理由

大学院に進学予定
観光デザイン学類で学ぶにつれ、住民の居住空間の居心地の良さについて関心を持ったから。観光客に影響を与える「日常性」に関しての研究も続け、大学院では環境心理学も学んでいきたい！

観光デザイン学類に入学した理由

専門学校から3年次で編入学したが、大学でまちづくりに関するスキルを身につけたかったから。

学知科目

共創デザインコアエリア

選択した理由

景観デザイン学を学びたいと思ったから。

他学域履修

日本の思想と宗教

選択した理由

曼荼羅に関心があったから。

プロジェクト演習

オーバーツーリズム対策演習

指導教員

佐無田光先生・
藤生慎先生・森崎裕磨先生

演習の内容 選択理由

オーバーツーリズムという観光でメジャーな課題に向き合いたかったから

融合演習（研究）

ひがし茶屋街におけるなにげない「日常性」について

指導教員

水内佑輔先生

演習（研究）の内容 選択理由

観光地という空間の中にあるなにげない「日常性」が観光客に与える影響に興味を持ち、研究したいと思ったから

大学生活で注力したこと

3年次編入学のため2年生までの必修科目を同時に履修する必要があり、2年間で多くの科目を履修し単位を取得したこと

編入学を志す人へ

編入学試験の準備や対策は大変かもしれませんが、入学後は楽しい大学生活が待っています！頑張ってください！



スマート創成科学類

Smart Technology & Innovation
Kanazawa University

Smart city × Science × Business

2023年4月 設置

仮想と現実の融合を実装し、
イノベーションの創成をリードする

令和5(2023)年 4月設置

融合学域

スマート創成科学類

School of Smart Technology and Innovation, College of Transdisciplinary Sciences for Innovation

AI(人工知能)、仮想現実、自動運転などのスマート技術は急激に進化し、私たちの生活にも身近になっています。スマート創成科学類は文理医融合を完成させるべく、それらの最新スマート技術を活用して、医療、産業、ビジネス、社会における課題を解決し、新たな価値を創出する目的で、令和5(2023)年に設置しました。金沢大学が持つICT技術などを活かし、最先端の技術を広く学びながら、持続可能なスマートシティを見据えた未来の科学を創り出す人材の養成を目指します。本学類は産業界からの期待も厚く、様々な共同プロジェクトやインターンシップで実践力を磨けるカリキュラムとなっています。ヘルスケアや生活の質の向上、技術や機能の社会実装、インフラや制度の発展等の科学進展を学修し、人と人が共創する未来の科学を創成します。

【一般選抜】

前期日程(文系傾斜、理系傾斜)、
前期日程(文系一括、理系一括)

【特別選抜】

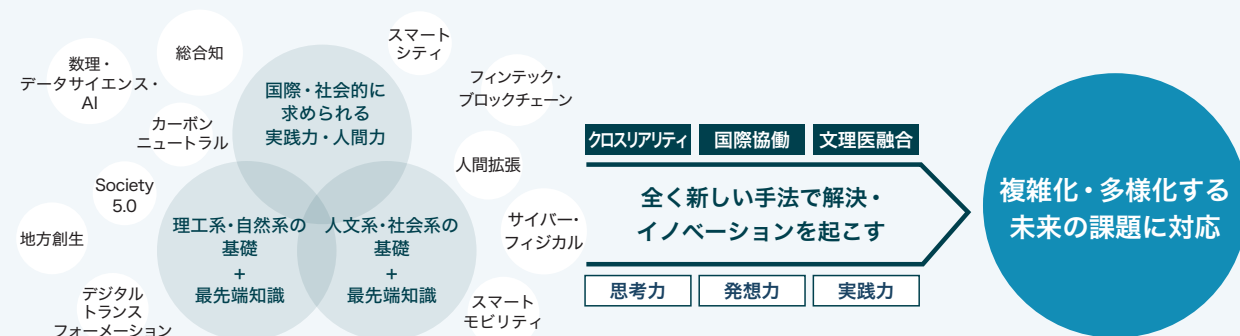
KUGS特別(総合型II、デジタル人材II、
英語総合II)、超然特別(A-lympiad I、
超然文学)、在外留学生推薦、社会人、
帰国生徒、国際バカロレア、私費外国
人留学生、国費外国人留学生

最先端のスマート技術を活用し、
誰もが豊かに暮らせる社会をつくらう！

【求める人材】

スマート創成科学類では、次のような意欲ある入学者を求めます。

- 多様な分野の知識を学び、それらを統合して課題発見・解決を率先したい人
- 多様な制度・慣習等に知的関心を有し、より良い未来社会づくりに貢献したい人
- 最先端の学知を連携・融合し、未来に資する新たな科学創成に挑戦したい人



3つの特長

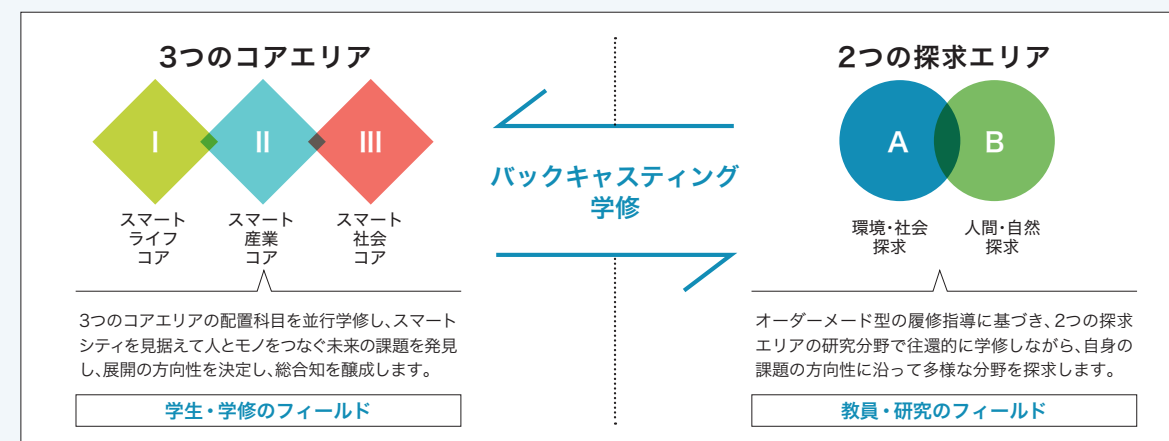
柔軟に学ぼう！

文理医融合で基礎から応用まで専門知識を身に付ける

- ▶ 偏りのない文理医融合プログラムのもと、自らの志向に合わせて最新知見や科学技術を広く深く学ぶことができます。
- ▶ 3つのコアエリアと2つの探求エリアを往還的に学び、自己の「問い」を深化させます。

【コアエリア × 探求エリア】

基礎から体系的に学修しながら、先端的な学びも横断して学修できるカリキュラム。

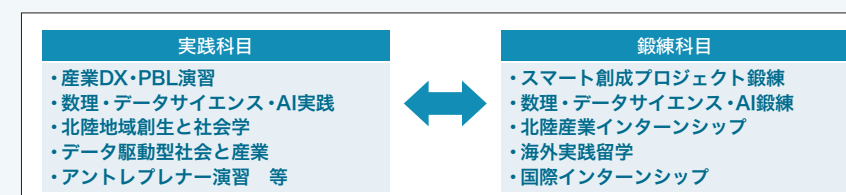


社会へ飛び出そう！

多様なPBL(プロジェクト・ベースド・ラーニング)学修で社会との共創や実装力を学ぶ

- ▶ 実践科目や鍛練科目を通じて、社会との共創を学びます。
- ▶ 専門知を基軸としながら、学生の自由な発想により、社会と共創した未来科学を創成します。
- ▶ スマート・リージョンを学び、多様性と一体性の両立、域内総生産の拡大を北陸から展開します。
- ▶ 多様なスマート技術を端緒に全業界での産業DXを志向し、スマートシティの構築を担います。

【地域や産業界を見据えた体系的・実践的知見の獲得】



デジタルで考えよう！

魅力ある未来のスマート創成を全分野の産業振興に活かす

- ▶ 情報×本学×産業のシナジー効果を見据え、これからのデジタル拡張に挑みます。
- ▶ 社会の資源・課題・知見を活かして、思考・発想・実践を多面的に捉え、デジタル・グリーン社会での経済活性化、産業創出・振興及び未来の科学を学びます。
- ▶ 石川県・金沢市を端緒としたプラットフォームでソリューションを実装的に学びます。
- ▶ 農林水産業や次世代ヘルスケアにもICTを展開できる情報人材を輩出します。

【スマート創成科学による未来知の創造】

スマート創成科学の学修によって、スマートライフ・スマート産業・スマート社会を見据え、仮想と現実を融合するXR技術等を活用し、総合知で未来の科学を創成することにつながります。



スマート創成科学類の特色

【第6期科学技術・イノベーション基本計画(2021年3月)】

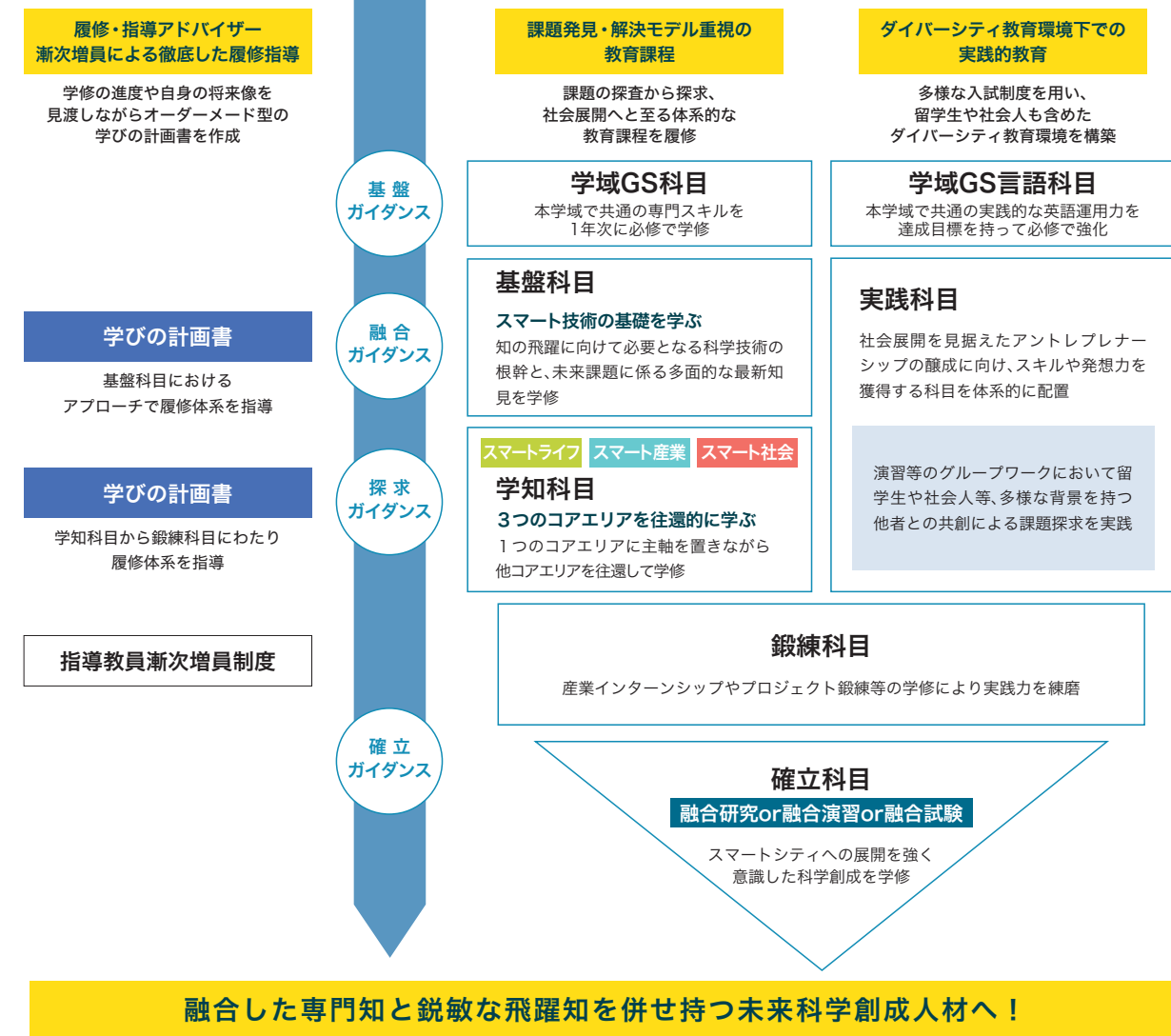
我が国が目指す社会(Society 5.0)の実現に必要なものは、「①サイバー空間とフィジカル空間の融合による持続可能で強靱な社会への変革、②新たな社会を設計し、価値創造の源泉となる「知」の創造、③新たな社会を支える人材の育成」の3点

【科学技術・イノベーション基本法(2021年4月施行)】

人文・社会科学の振興とイノベーションの創出が法の振興対象に加えられ、科学技術の振興のみならず、社会的価値を生み出す人文・社会科学の「知」と自然科学の「知」の融合による「総合知」により、人間や社会の総合的理解と課題解決に資する政策へ改正

これらの国の提言等を踏まえ、**文理医融合型教育**や**アントレプレナーシップ教育**を体系的に行い、新たな「スマート創成科学」に取り組みます。

【専門教育マップ】



【スマート創成科学類卒業時に達成する学修成果】

- ・未来の科学を創成するための多面的な最新の知見を学び、それを理解する力
- ・未来課題を理解し、ヒト・モノ・コトに関する多様な情報を収集・分析する力
- ・総合知を背景に課題解決や社会展開に向けて論理的に考える力
- ・語学や異文化に関する知見を有し、自己の使命を果たすべく、国際社会で積極的に発信する力
- ・スマート創成等に高い意欲を持ち、主体的・積極的に挑戦していく姿勢や発想、行動する力

【授与学位】
学士(学術)

多様な分野やシステムを総合的・統合的に学修したことを示す
本学で本学域だけが授与する学位

工学や社会学を背景に、スマートシティ構築への階層化した教育課程で、最新知見や科学技術を広く深く学ぶことができます。

共通教育科目		36単位以上		
導入科目	GS科目	GS言語科目	基礎又は初習言語科目	自由履修科目
専門教育科目		88単位以上		
学域GS科目	6単位	アカデミックスキル 数理・データサイエンス基礎及び演習	プレゼン・ディベート論 デザイン思考	イノベーション基礎
学域GS言語科目	2単位	学域GS言語科目Ⅰ／海外実践英語 学域GS言語科目Ⅲ (Interaction) 学域GS言語科目Ⅲ (Reading and Discussion)	学域GS言語科目Ⅱ／時事・学術英語 学域GS言語科目Ⅲ (English for STEM students)	学域GS言語科目Ⅲ (Presentation) 学域GS言語科目Ⅲ (Science and Society)
専門基礎科目				
実践科目	13単位	アントレプレナー基礎 産業DX・PBL演習Ⅰ 数理科学探求 スマートデバイス演習 プログラミングスキル プログラミングスキル実践	アントレプレナー演習Ⅰ 産業DX・PBL演習Ⅱ データ解析演習 北陸地域創生と社会学 Webサイト設計基礎 アプリ開発	アントレプレナー演習Ⅱ 社会調査法 地方創生に見る社会課題 数理・データサイエンス・AI実践 データ駆動型社会と産業
基盤科目	19単位	テクノロジー基礎 スマート創成化学とバイオロジー マーケティング論 未来エネルギー創成 世界の課題と技術トレンド 金融工学 数理行動モデル基礎 北陸の農林水産・製造業 イノベーション・マネジメント	ファイナンス基礎 技術社会と倫理 北陸技術経営論 超スマートシティとSociety 5.0 SDGs基礎 情報科学応用 スマートシステム制御 消費生活論	ロボットイノベーション フィンテック基礎とビジネス応用 AIと未来の社会学 社会変動と労働生産性 IoT技術 社会と工学における最適化 北陸の都市・農村・文化 コンピュータとデジタル回路
専門科目				
学知科目	26単位	スマートライフコアエリア	先端医学 人間拡張とライフ 生活デザイン論 生活行動とアクティビティ 健康スポーツ栄養学 AI・IoT健康福祉学	未来医科学 地域の居住空間デザイン 超高齢社会と科学技術 未来型ヘルスケアシステム スマートウエルネス フィジカル・ブレイン接続
		スマート産業コアエリア	スマート産業論 画像認識と機械学習 統計的学習理論 スマートシステム制御応用 産業とユニバーサルデザイン エナジーハーベスティング	消費者行動と社会 スマートセンシング デジタル生産工学 スマート資金とビジネス応用 拡張・リアリティ空間デザイン コンピュータと電子回路
		スマート社会コアエリア	SDGs実践 Web・クチコミ社会動向分析 スマートモビリティと自動運転 エビデンスベース政策論 デジタルツインと危機管理 スマートインフラマネジメント	実践スマートシティ論 デジタルエコノミーと地域展開 都市・交通デザイン ソーシャルイノベーション 低炭素社会 ネットワーク・メカニズムデザイン
鍛練科目	4単位	北陸産業インターンシップⅠ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ 海外実践留学3 海外実践留学6 国際インターンシップ1 国際インターンシップ4 国際インターンシップ7	北陸産業インターンシップⅡ 海外実践留学1 海外実践留学4 海外実践留学7 国際インターンシップ2 国際インターンシップ5 国際インターンシップ8	スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ 海外実践留学2 海外実践留学5 海外実践留学8 国際インターンシップ3 国際インターンシップ6 数理・データサイエンス・AI鍛練
確立科目	8単位	融合研究	融合演習	融合試験
自主選択枠	10単位以上	【すべての専門教育科目から】		

スマート創成科学類の3年生に聞きました!!

質問内容

- 1 スマート創成科学類を選んだ理由は？
- 2 将来の夢は？



スマート創成科学類3年次
松本 悠人さん
[愛知県出身]

自主性から広がる可能性

① 高校3年の夏に担任の先生から教えてもらったのが、この学類を知ったきっかけでした。ここでは、文理の枠を超えて自分が学んでみたいことを見つけられるので、当時、大学で学びたいことが具体的ではなかった自分にはぴったりな学類だと感じました。さらに、ここでは最先端の科学に触れながらこれからの世の中で必要とされる力をつけていけると知り、どうせなら将来の役に立つことを学べる4年間にしたいと思いこの学類を選ぶことを決めました。

② 将来は、様々な分野で活躍できる人材になりたいと考えています。現在の世の中で起きている問題は、解決するために多様な分野の知識が必要とされる問題が多く、その中で活躍していける力を養っていききたいです。いくら色々なことを学べる学類だとは言え、自分から積極的に学んでみたいことを調べ、選んでいかないと成長はできないと思うので自主性を大切に頑張っていきたいと思っています。



スマート創成科学類3年次
久保 心乃さん
[愛知県出身]

現代に必要な人材になるために

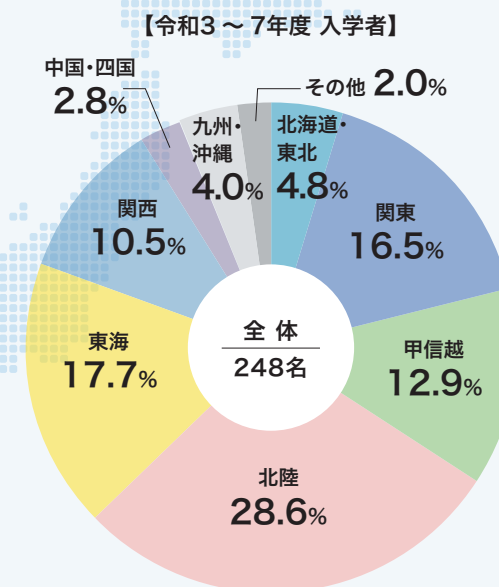
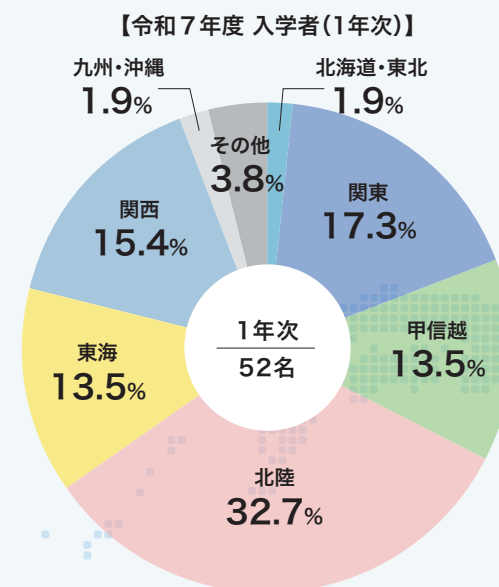
① 私は元々高校時代の文理選択で、数学と世界史のどちらも好きであり、悩んだ末に文系を選びました。3年生の初めは、数学を学びたく、経済学部を考えていましたが、調べていくうちに、このスマート創成科学類を発見しました。この学類は、文理融合の柔軟性が一番の特徴であり、はっきりとした未来像が定まっていない私にとって将来の可能性をより広げることが出来る最適な場所だと考えたため、志望しました。また、新設の学類ということもあり、金沢大学の新しい取り組みに参加することにも興味があった

ことが選んだ理由のひとつです。

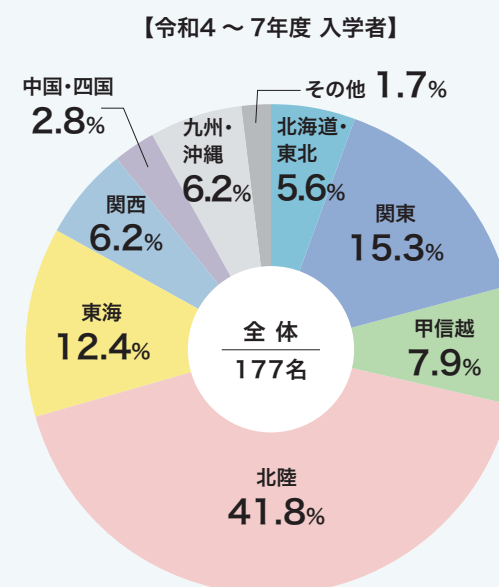
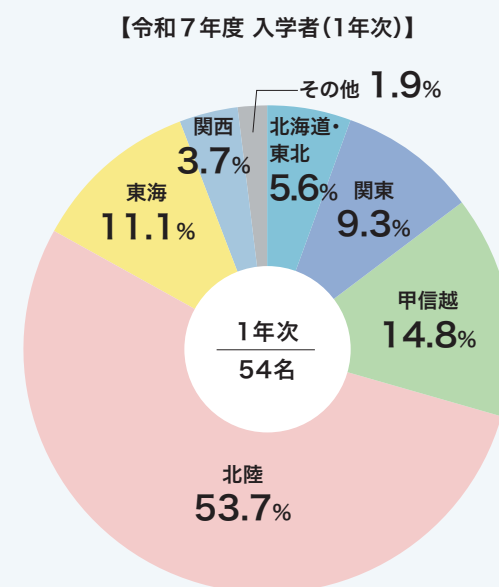
② 私は考えたり、問題解決することが好きなので、テレビ局や出版社などのメディア系の会社に就職し、0から1を生み出すスキルを持つ企画者や、それぞれの会社に見合ったアドバイスのできる経営コンサルタントなどの、現代に必要な人材になりたいです。そのために、大学では幅広い分野の知識を養い、様々な人の視点に立ち、考えを複数あげることを意識しながら勉強に励んでいきたいです。



先導学類



観光デザイン学類



スマート創成科学類

